

100年後

音楽家 太田 豊

No.43



太田豊さん。雅楽演奏家として横笛・琵琶・左舞を専門とし国内外で多くの公演に出演。
 「16歳の時に水島公民館へ雅楽の練習に行ったことがきっかけ。6、7年前からプロとして活動している。」
 雅楽について伺った。
 みんなで集まって音楽を楽しむ。サクラが咲いたら集まり、月がきれいだったら集まり…。これを管絃の宴という。天皇が催す管絃の宴のことを「御遊（ぎょゆう）」といわれた。まさに貴族の遊

び、これが遊びの始まりだそうだ。
 約1300年ぐらい前に、朝鮮、中国、インド、エジプトといった大陸からどんどん音楽が伝わり、極東の地、日本でミックスされた。それが894年の遣唐使の廃止により、日本の風土、風習に合った音楽へと洗練されていく。「これほど完成度の高い音楽はない。」と太田さんは語る。
 日本の伝統的な音楽の歴史を知る事は、日本の歴史や文化、生活様式などを感ずることが出来る。

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



カレーショップJINJIN
 関沢仁悦さんからのご紹介

さらに、四季を楽しむ心日本人らしい感性を再認識できる。
 「学校では教えられない日本人として知っておくべき一番大切なこと」のように思えた。



太田さんの自宅から望む風景

雅楽は、公家や貴族が中心でクラシック。能は武士が中心でジャズ。歌舞伎は、町人が中心でロックという感じ。
 「今までクラシックとジャズが交じり合うことがなかった。」
 「実は海外の音楽イベントに日本から雅楽と能のグループが参加した。出演者が集うパーティーで海外のアーティストを前に余興のパフォーマンスをすることに。」
 「スペイン、モンゴル、他の国はパツと楽曲を

決めてすばらしい演奏をされた。それに比べて日本はなかなか決まらず…日本を代表する音楽って何だろう、日本をどう伝えればいいんだろう…と。日本人が日本のことを知らなさ過ぎることを実感した。
 「今だと、僕たちが子供のころに授業で習った童謡なんかも、知らない子ども達がいるんじゃないかな。」



日本人は、他人の真似をしてさらに応用して進化させるのが上手。
 これまでの日本の歴史でも、海外の情報を吸収する時期、遣唐使を廃止したり鎖国をするなど、日本固有の良さを追求する時期を繰り返している。今、不況の中で、新しいことにお金と時間をかけられない。逆に日本にある今までの良さを再確認する時期が来ているのではないか？
 「100年後の人間に、あの時代はいろんな音楽をつまみ食いしてるだけで、本当の日本の良さを何もわかってない」と言われたくない。」

「京都の懐石料理を食べた後に『なんか物足りないなあ、ラーメン食べて帰ろう』みたいな感じ。洗練された素晴らしい物なのに、ハンバーグやマヨネーズ味が慣れてしまつて、舌が麻痺している。まさに音楽もそうじゃないかと。」
 100年後の日本人へ繋ぐ音楽を作りたい。
 冗談を交え、笑顔を絶やさず話してくれた内容は、日本の音楽の100年プランだった。
 太田さんの活躍の場が広がるのが、今の時代に必要なののように感じた。



太田豊 音楽家(横笛・SAX・作曲)

笛を宮内庁式部職楽部主席楽長 安齋省吾氏に、左舞を安齋省吾・東儀雅季両氏に師事。ジャズサクソフ奏者として1995年から2002年まで「渋さ知らズ」に在籍。CDの録音や2度のヨーロッパツアー、FUJI ROCK FESに参加。日本と西洋の両方を知る音楽家として作曲・プロデュース・演奏のすべてにかかわりオリジナルの音楽を制作。和洋楽器混在のバンド「東京民俗音楽」での活動やデーモン木暮閣下など様々なパフォーマーとのセッションなどジャンルを越えとらわれない多彩な活動を展開している。
 東京芸大卒

廻向寺で、いするぎ寺子屋Vol.3 口ウソクの灯りの中、横笛と薩摩琵琶の演奏

日程 2010年9月28日(火)
 時間 19:00~ご住職のお話 19:30~演奏
 場所 廻向寺 小矢部市石動町1-38
 出演 太田 豊(笛、楽琵琶)
 桜井亜木子(薩摩琵琶)
 問合せ 小矢部市商工会 TEL 0766-67-0756
 入場無料

ひがし茶屋街おく、宇多須神社にて 横笛と薩摩琵琶の演奏会を開催

日程 2010年9月29日(水)
 時間 開場19:00 開演19:30~
 場所 宇多須神社 石川県東山1-30-8
 出演 太田 豊(笛、楽琵琶)
 桜井亜木子(薩摩琵琶)
 問合せ 町屋塾 TEL/FAX 076-252-3176
 前売り2,000円 当日2,500円

国内外で活躍している
 太田さんにとって
 地元デビューの演奏会です。
 ぜひお見逃しなく!



店長からの一言